

## ●自然体験⑱



## 滝野バードウォッチング

## 概要

双眼鏡を片手に、滝野に生息するさまざまな鳥を観察しましょう

## 人数

・何人でも

## 対象

・幼児～

## 実施期間

・春～秋

## 所要時間

・90分程度



## 活動場所

・詳細は別紙 | 観察ポイントマップ参照

## 指導のねらい

・野鳥の観察をとおして自然環境に目を止める力や感受性を養う

## 活動のながれおよび留意点

## 【事前準備】

- ① 配布物を印刷する
  - ※ 別紙1～2参照
- ② 野鳥リストにある野鳥の特徴を調べる
  - ※ どのような情報（鳴き声、大きさ、色）があればその野鳥を見つけることができるのかをグループで共有してから調べ学習に取り組む
  - ※ 滝野のいきものさがし図鑑を参考にするとよい
- ③ 調べた野鳥についての情報はプリントアウトしたり、ノートにまとめるなどして整理する・
- ④ 双眼鏡の使い方を確認しておく
  - ※ 別紙2参照

## 【当日】

- ① 別紙1をもとにルール説明を行う
- ② マップを見ながらバードウォッチングを実施する
- ③ 終了したら、解答を見て答え合わせをする
- ④ どのような野鳥が見られたか、双眼鏡をとおして自然を観察したことで気づいたことを共有する

## 【応用】

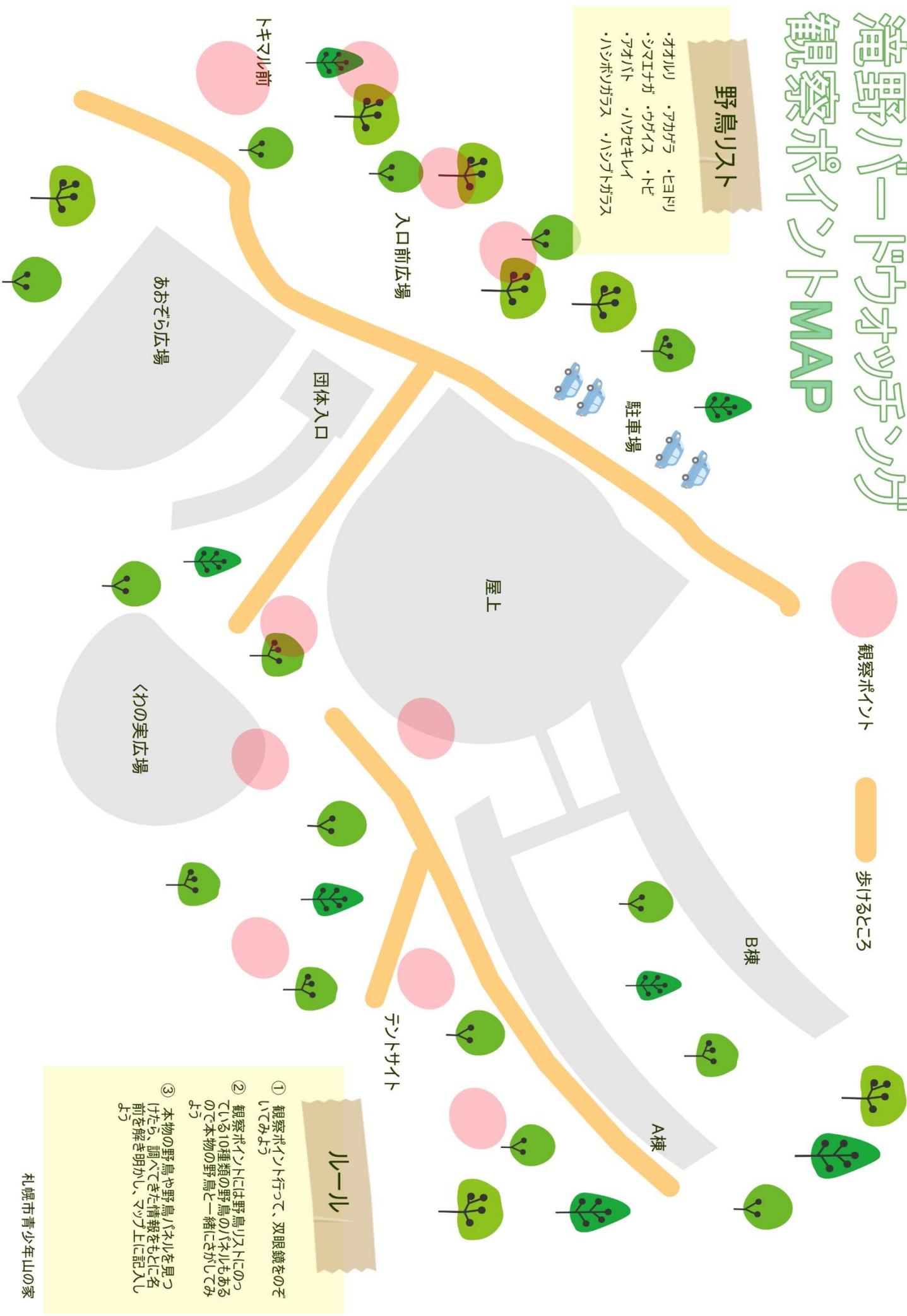
- ・事前準備で全員が同じ鳥を調べるのではなく、調べる野鳥を分担して、当日、相互に解説し合いながら、野鳥をさがすことも可能

## 準備物品

- 【山の家で貸出・購入可能なもの】
- ・双眼鏡（グループに1つ）
  - ・滝野のいきものさがし図鑑（1冊 250円で販売）
- 【団体で準備するもの】
- ・別紙1～2、カメラ、筆記用具

## 備考

# 滝野バードウォッチング 観察ポイントMAP



## 野鳥リスト

- ・オオルリ
- ・アカガラス
- ・ヒヨドリ
- ・シマエナガ
- ・カゲイヌ
- ・トビ
- ・アオバト
- ・ハクセキレイ
- ・ハシホトガラス
- ・ハシオトガラス

観察ポイント

歩けるところ

## ルール

- ① 観察ポイント行って、双眼鏡をのぞいてみよう
- ② 観察ポイントには野鳥リストにのっている10種類の野鳥のバードもあるから本物の野鳥と一緒にさがしてみよう
- ③ 本物の野鳥や野鳥バードを見つけたら、調べてきた情報をもとに名前を解き明かし、マップ上に記入しよう

# 滝野バードウォッチング

## 観察ポイントMAP(解答)



## 双眼鏡の使い方

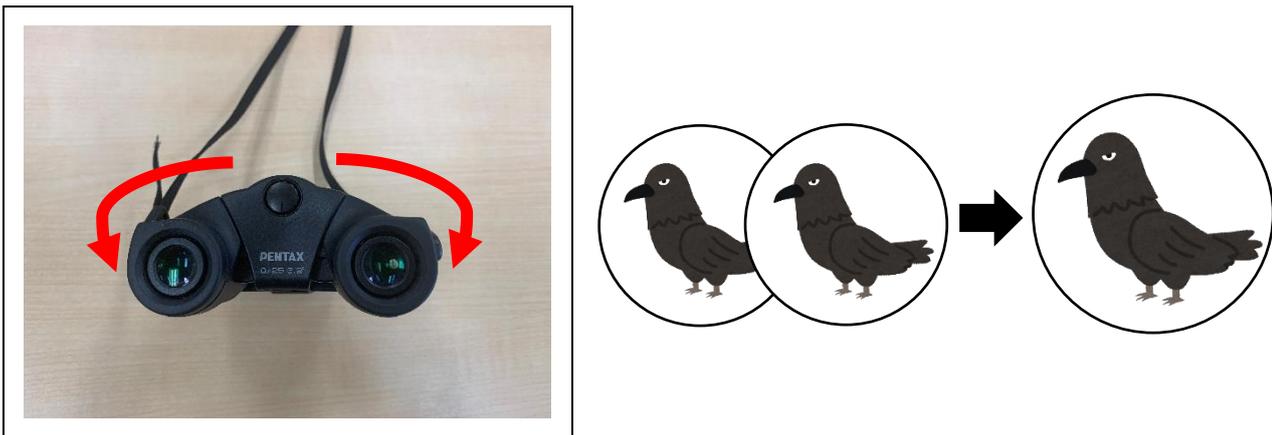
### ① 目当てリングの位置を調整する

- ・ メガネをかけている方は、目当てリングをしまう
- ・ メガネをかけていない方は、目当てリングを引き出す



### ② 目の幅を合わせる

- ・ 両手で双眼鏡の本体を持ち、両方の目でのぞき、「円」が重なって見えるように角度を調整する



### ③ 見え方の調節をする

- ・ 遠くの目標物を決め、左のレンズをのぞきながら、ピント合わせリングを回してはっきり見えるようにする
- ・ 次に、右のレンズをのぞきながら、視度調整リングを回してはっきり見えるようにする
- ・ 見えるようになったら、視度調整リングを押して収納します。



### ④ 目標物を変えるときは、ピント合わせリングのみを調節する